

保土ヶ谷区民会議

ニュース やまびこ



第79号

令和4年3月15日発行

編集 保土ヶ谷区民会議 広報委員会
 発行 第24期 保土ヶ谷区民会議
 事務局 〒240-0001
 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9
 保土ヶ谷区 区政推進課
 広報相談係内
 TEL:334-6221
 FAX:333-7945

ニュースやまびこ第77号、第78号 第24期後半の主な活動予定

区民の皆さまには、日頃より区民会議の活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

「保土ヶ谷区民会議 ニュースやまびこ」は、区民会議の活動を皆さまにお知らせする広報紙として、1期2年に3回発行し、自治会・町内会回覧板にてご覧いただいております。

しかしながら、令和3年3月発行の第77号、7月発行の第78号につきましては、コロナ禍のため自治会・町内会への配布が中止となり、今回発行します第79号は、本来令和3年度「地域のつどい」提言・要望に対する回答を掲載予定でしたが、該当年度「地域のつどい」中止のため掲載不可となりました。代わりに、お届けできなかった第77号と第78号の掲載内容(タイトル)をお知らせいたします。また、併せて第24期後半の主な活動予定を掲載させていただきます。



ニュースやまびこ 第77号(令和3年3月19日発行)

1面「第23期を終えるにあたり」

「区民会議は、この3月で第23期(平成31年4月～令和3年3月)が終わり、4月より第24期(令和3年4月～令和5年3月)がスタートします。」

1面「令和2年度「区民のつどい」「令和2年度書面「地域のつどい」からの提言・要望についての回答を受けとる」

2面・3面「地域のつどい」提言・要望の回答(抜粋)

3面・4面「第23期分科会/区民会議から区民のみなさまへ」

ニュースやまびこ 第78号(令和3年7月15日発行)

1面「第24期保土ヶ谷区民会議が新体制で発足」

「令和3年4月24日(土)開催の第24期保土ヶ谷区民会議(書面)総会において、代表委員小林由美子委員、副代表委員平本勉委員、川上吉夫委員、長山昌利委員それぞれの再任と、富田修一委員の新任、運営委員23名が承認され、委員総数115名で第24期が発足しました。」

[テーマ] 未来につなごう! 人にやさしいまちづくり
 ～すきです 保土ヶ谷 マイタウン～

[活動計画]「代表委員挨拶」「区長挨拶」

2面「今期の主な活動紹介 ◎テーマ及び活動計画」

第24期後半の主な活動予定(令和4年4月～令和5年3月)

●令和4年度「地域のつどい」

アンケート形式での書面開催とします。従来の紙ベースでの配布・回収だけでなく、電子データの活用を図ります。

6月アンケート配布→7月回収→8月集約・行政へ提言・要望を提出→10月行政からの回答受理→11月「区民のつどい」にて回答発表、ホームページに掲載

●令和4年度「区民のつどい」

日時: 令和4年11月12日(土) 会場: 保土ヶ谷公会堂

内容: 第24期活動報告、「地域のつどい」からの提言・要望への回答、音楽、他



令和元年度「地域のつどい」



令和元年度「区民のつどい」

第24期5分科会の前半活動報告と後半活動計画

環境分科会

第24期前半の環境分科会は、23名のメンバーで引き続き未来へつなごう水・緑・資源」をテーマとし「自然環境」「ごみ問題」「エコ問題」のサブテーマに分け、以下の内容を実施しました。

1. 環境分科会の活動内容・状況を、身近な環境の改善について、区民の皆様理解していただけるパネル・活動報告の作成の準備を進めました。
2. 分科会の活動
 - (1) 自然：ホテル観察会は、活動開始の遅れから後半の実施となりました。(実施は今年6月頃)
 - (2) ごみ：家庭ごみの削減に資するため、環境循環局保土ヶ谷工場の担当者を招いた勉強会を実施しました。
 - (3) エコ：保土ヶ谷区役所前に、廃食用油回収コーナーを設置(4回、約140L)、カーボンニュートラルの勉強会を実施しました。



教育分科会

教育分科会では「子どもは未来のだから 地域ぐるみで子育てを」というテーマで活動しています。今期前半の活動は、①あいさつ運動の推進、②教育現場の実情を知る、③地域の子育ての実情を知る、の3つの柱を中心に活動しました。主な取り組みは、「保土ヶ谷警察署管内における少年の犯罪発生状況や被害・相談等の実情」というテーマで学習会を開催(令和3年10月12日)、横浜市立宮田中学校への学校訪問(令和4年1月11日)を行いました。今期後半活動計画では、これまでに取り組んだ活動をさらにブラッシュアップさせていきたいと思ひます。



交通分科会

第24期サブテーマの最も身近な自転車に係わるマナー向上、安全な運転を始めとする諸問題に取り組んでいます。

横浜市の「ルールブック」の有効活用法として保育園・幼稚園等への配布方法の打診を進める一方、作成したDVDの再編集を進行中です。

11/24(日)瀬戸ヶ谷小の「交通安全教室」に参加、自転車のルール違反例の解説、イヤホンを付けた「ながら運転」の危険を体感、分科会活動に参考となる事が数多くありました。

12/8(水)川崎市交通安全協会専務理事 米川遼一氏をお招きし自転車事故により、多額の賠償請求をされた例など、ルール無視による事故の代償は非常に大きいことを学びました。

後半もコロナ禍により達成出来なかった目標に向かい切磋琢磨して参ります。



災害分科会

前半は ①DIG出前講習会を11月28日瀬戸ヶ谷4自治会対象に実施 ②防災減災冊子3部作「地震発生時の安否確認について」「地震発生時の避難について」「家具転倒防止対策」の見直しとダイジェスト版作成を検討 ③川辺町防災協力会主催「自然災害シンポジウム」の開催準備への参画 ④区総務課危機管理・地域防災担当係長より危機管理室の業務について受講をしました。後半も ①DIG・HUG出前講習会 ②前出3部作の6月完成に向けた見直しとダイジェスト版作成の検討 ③6月4日開催予定の「自然災害シンポジウム」への協力 を実施予定です。



福祉分科会

コロナ禍をかいくぐりながら、「SDGs学習会」、「ボッチャ体験」、「聴覚に障害のある市民との意思疎通のために」の出前講座、「コロナの現状・対応等の学習会」を開催し幅広く多くを学んだ1年でした。それぞれの委員さんがこれらの学習会等から様々な収穫を得て、多様性のある新しい発信活動へと前向きに進めております。特にSDGs(持続可能な開発目標)学習では「誰一人取り残さない」で「すべての人に健康と福祉を」を目指して「地域のパートナーシップ」を進めて行く事を改めて確認致しました。今後の活動もコロナの状況次第ですが、福祉という広い分野で、委員の皆さんの活発な意見を生かしながら、「未来につなごう!人にやさしいまちづくり」の大テーマのもと、行政と区民のパイプ役となって、多くの『笑顔』を増やせるように発信活動を続けてまいります。



第24期保土ヶ谷区民会議広報委員

- (委員長) 富田 修一 (副委員長) 鈴木 克利
 (委員) 尾崎 宗造、松土 美智子、池田 親政、金川 博史、新庄 茂、中島 康雅、
 保田 順子、山田 明子 (順不同)

